

令和8年度 標準学力分析検査結果

嘉麻市教育委員会 学校教育課

1 調査の目的

生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

2 調査対象の学年

中学校・義務教育学校（後期課程）全学年

3 調査の内容

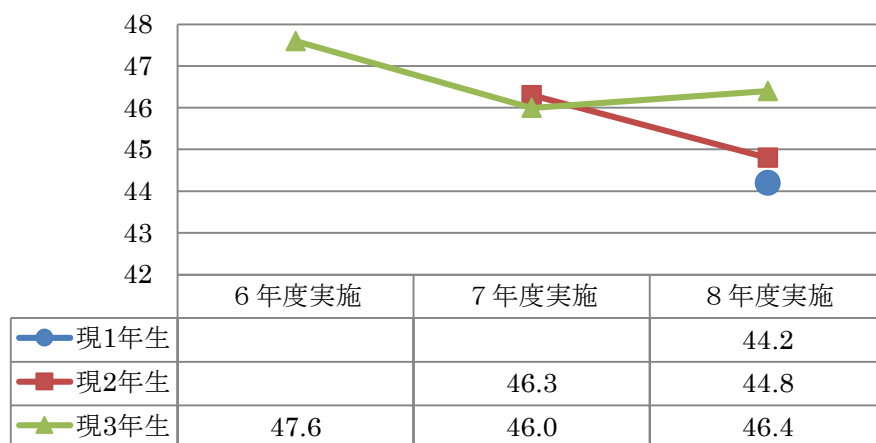
前年度までの学習内容

・全学年（国語・社会・数学・理科・英語）

めざせ！標準偏差値（50）超え！！

	3年度実施	4年度実施	5年度実施	6年度実施	7年度実施	8年度実施
嘉麻市平均	47.1	46.0	45.5	45.8	45.8	45.1
標準偏差との差異	-2.9	-4.0	-4.5	-4.2	-4.2	-4.9

各学年の推移



- 前年度+1.0ポイントを目標に取り組んできましたが、-0.7ポイントとなり、県平均（50）から-4.9ポイントとなりました。また、各学年の推移を見ると、「1年生（7年生）から2年生（8年生）に数値が下降し、2年生（8年生）から3年生（9年生）に数値が上昇している」という例年同様の傾向が見られます。さらに、1年生においては、-5.8ポイントとなりました。

【成果】

- 5教科平均では、目標値を達成することができていませんが、3年生（9年生）の国語科、社会科において、県平均（50）を超えている学校が各1校ずつありました。これは、教科における授業改善が図られたり、組織的に補充学習や生徒の見取りを効果的に行ったりした結果だと考えます。

【課題】

- 誰一人取り残さない、基礎・基本の確実な定着を図るための授業づくりについて推進していく必要があります。
○ 平日及び週末の家庭学習時間ゼロ時間の生徒が全国平均より多く、基礎・基本の定着を図る家庭学習の習慣化に課題があります。

【改善策】

- 単元テスト等により短いスパンにて生徒の基礎・基本の定着状況を把握するとともに、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と多様な他者と高め合う「協働的な学び」を組み合わせ、充実させた授業づくりを行っていきます。
○ 学校と家庭が連携した家庭学習の習慣化と嘉麻市主催の土曜未来塾や放課後英語塾等を推進し、家庭学習について改善を図っていきます。
○ 上記の2点について、嘉麻市学力向上検証委員会において各校の取組を交流することで、各校における確実な実施を図るとともに、好事例の紹介や組織的な取組の在り方についての指導助言を通して、充実を図っていきます。